

平成 30 年度 マレーシア春期英語研修

都市教養学部都市教養学科法学系 3 年 林昌弘

はじめに

私は英語の能力の向上と異文化に触れその理解を深めることを目的に 2 月 24 日から 3 月 24 日までのマレーシア春期英語研修に参加しました。研修について生活、授業、アクティビティーに分けて紹介していきます。

生活

私たちは大学寮に滞在しました。寮は 2 人 1 部屋で、トイレ、シャワーは共用、食事は学食でとることができ、洗濯は手洗い若しくは寮の 1 階にある洗濯機を使用することができました。現地は暑いのでサンダルを用意しておくと思生活しやすいと思います。寮と研修先のセンターでは Wi-Fi を使えますが、外に出かける際のことを考えるとあらかじめ Wi-Fi を準備していくのが無難だと思います。

授業

授業ではリーディング、ライティング、スピーキング、リスニングに取り組みました。リーディングの授業では、長文を読みそれについての問いに答え、ライティングの授業では、提示されたグラフ又はチャートについて記述するというものと、あるテーマについてその長所と短所を論じるエッセイを書くというものをしました。スピーキングの授業では、日本人は 3 人 1 グループで日本に関することについてプレゼンテーションを行い、リスニングの授業では、リスニングの問題を解きました。リーディングとライティングに関してはあまり困るということはありませんでしたが、スピーキングとリスニングについては自身の拙さを実感しました。

私がいたクラスは、リビア人が 1 人、パキスタン人が 1 人、中国人が 7、8 人といった具合で、彼、彼女らが授業中に積極的に発言していくのを見て、日本の授業の雰囲気と全く違うと感じ、刺激的でした。文法や発音の間違いを気にせずどんどん発言していく様子はとても新鮮でした。

アクティビティー

1 週目、2 週目、3 週目の土曜日にそれぞれ、日本語を勉強しているマラヤ大学の学生達との交流、マラッカ観光、植物園散策といったアクティビティーがありました。マラッカでは明の鄭和に関する建物や碑を見る機会があり、印象に残りました。

おわりに

マレーシアは多民族国家で、マレー系、中国系、インド系等の民族からなっており、人種、宗教、言語も様々で、街中を歩くだけでその多様さに驚かされました。1ヶ月という短い期間でしたが日本とは異なる社会に滞在し、良い体験をすることができたと思います。興味のある方は是非この研修に参加してみてください。